

新保幸男

1. 著書

- 1) 単著, 新保幸男, 2025年02月, 日本語, 児童家庭福祉論, 第1章 児童家庭福祉の理念と基本的理解, 全国社会福祉協議会, 1-21
- 2) 単著, 新保幸男, 2025年02月, 日本語, 子ども家庭福祉, 第1章 子ども家庭福祉の理念と概念, 中央法規出版, 1-13

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会, 査読委員, 平成20年9月～
- 2) 日本子ども家庭福祉学会, 査読委員, 平成12年4月～
- 3) 日本子ども家庭福祉学会, 研究倫理ガイドライン作成委員会 委員, 令和6年7月～
- 4) 日本保健福祉学会, 理事, 平成27年10月～
- 5) 神奈川県「子ども・若者施策審議会」, 会長, 令和5年5月～
- 6) 神奈川県「子ども・子育て支援推進協議会」, 会長, 平成27年5月～
- 7) 神奈川県「総合計画審議会」, 委員, 令和6年5月～
- 8) こども家庭庁「こども家庭審議会」, 委員, 令和5年4月～
- 9) こども家庭庁「こども家庭審議会 基本政策部会」, 委員, 令和5年4月～
- 10) こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援部会」, 部会長, 令和5年4月～
- 11) こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援部会 こどもの貧困対策推進ワーキンググループ」, 座長, 令和6年7月～
- 12) こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援部会 こどもの貧困対策推進ワーキンググループ」, 委員, 令和6年7月～
- 13) こども家庭庁「こどもデータ連携ガイドライン検討会」, 座長・主査, 令和6年7月～
- 14) こども家庭庁「ひとり親家庭支援における相談対応事例集検討会」, 座長, 令和6年7月～
- 15) 東京都「児童福祉審議会」, 副委員長, 令和5年1月～
- 16) 東京都「児童福祉審議会専門部会」, 部会長, 令和6年6月～
- 17) 東京都「青少年問題協議会」, 委員, 令和6年4月～
- 18) 東京都「青少年問題協議会若者支援部会」, 委員, 令和6年4月～
- 19) 神奈川県「子ども・若者未来提案実現プロジェクト審査会」, 委員, 令和6年8月～
- 20) 神奈川県「かながわこどもまんなかアクション好事例広報委員会」, 委員, 令和6年8月～
- 21) こども家庭庁「こどもまんなかアクション事務局業務及び広報活動業務契約に際しての技術評価委員会」, 委員長, 令和7年3月～
- 22) 横須賀市「児童福祉審議会」, 委員長, 令和5年4月～
- 23) 横須賀市「児童福祉審議会 子ども・子育て分科会」, 会長, 令和5年4月～

6. 社会貢献

- 1) ソフトバンク「5Gコンソーシアム会員」として、社会インフラについて関連業界の方々と交流している。 , 2024. 4～
- 2) 三菱総合研究所「未来共創イニシアチブ会員」として、未来共創について関連業界の方々と交流している , 2024. 4～
- 3) オープンキャンパス で 学科長挨拶・面談, 2024. 8
- 4) ミニオープンキャンパス で学科長挨拶・面談, 2025. 3

7. 講演, 放送

- 1) 全国社会福祉協議会「児童家庭福祉」, 2024. 10
- 2) 東京都社会福祉協議会「チームリーダーとスーパービジョン」, 2024. 9

9. 学内教育活動

1) 博士後期課程

博士後期課程院生2名への博士論文研究指導, 2024. 4
博士後期課程院生 1 名への博士論文提出指導, 2024. 4
博士後期課程院生「児童福祉学特論」科目責任者, 2024. 4
博士後期課程院生1名の博士論文予備審査会で主査をつとめた。 , 2024. 11

2) 博士前期課程

博士前期課程院生4名への修士論文研究指導, 2024. 4
博士前期課程院生3名への博士論文提出指導, 2024. 4
博士前期課程院生への「社会福祉原論」科目責任者, 2024. 4
博士前期課程院生への「児童福祉特論」科目責任者, 2024. 6

10. 学内各種委員会活動

- 1) 教育研究審議会, 2024. 4
- 2) 学長補佐会議, 2024. 4
- 3) 総務・企画委員会, 2024. 4
- 4) 学科長会議, 2024. 4
- 5) アドミッションセンター運営会議, 2024. 4
- 6) 内部質保証推進委員会, 2024. 4
- 7) 利益相反委員会, 2024. 4
- 8) 昇任審査委員会, 2024. 4
- 9) 社会福祉学科人事小委員会（委員長）, 2024. 4
- 10) 社会福祉学科実習委員会（責任者）, 2024. 4

- 11) 社会福祉学科SNS（責任者）, 2024. 4
- 12) ソーシャルワーク実習担当者会議, 2024. 4
- 13) ヒューマンサービス担当者会議, 2024. 4

高橋 恭子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 高橋恭子, 2025年01月, 日本語, ソーシャルワークの基盤と専門職, 第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ、第4章第1節 ソーシャルワーク前史, 全国社会福祉協議会, 65-72、138-150
- 2) 共著, 高橋恭子, 2025年01月, 日本語, 保健医療と福祉 第2版, 第6章第1節 2 保健医療分野におけるソーシャルワーク実践の歴史と動向 , 中央法規出版, 178-186

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史 , 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝 , 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子. , 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ. , 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2) , 127-137, 10. 32217/jaipe. 17. 2_146
- 2) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子 , 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 佐野晴美、福田美香、高橋恭子、宮原学、石川綾子、吉田勝明、窪倉孝道、篠原裕希, 「身寄りがなく判断能力が不十分又は喪失した人への入院中に行う相談支援（ソーシャルワーク）に関するアンケート」についての報告, 第43回神奈川県病院学会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会, 査読委員, 2019. 4. 1～
- 2) 日本保健医療社会福祉学会, 査読委員, 2020. 4. 1～
- 3) 日本医療ソーシャルワーカー協会, 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修担当チームチームリーダー, 2023. 6～
- 4) 日本医療ソーシャルワーカー協会, 第20期保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修講師, 2024. 3～
- 5) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 実習指導委員会委員, 2020. 4. 1～

- 6) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 「身寄りのない人への支援に関する実態調査」プロジェクトメンバー, 2023. 9. 1～
- 7) かながわ人権政策推進懇話会, 委員, 2024. 10. 1～
- 8) 性暴力対応ネットワークStaRTかながわ, 事務局長, 2013. 4～

6. 社会貢献

- 1) 横須賀総合高等学校 学問・分野別説明会講師, 2024. 7
- 2) オープンキャンパス 相談担当, 2024. 8
- 3) ミニオープンキャンパス 学科紹介担当, 2025. 3
- 4) KSWの会スーパーバイザー, 2007 ～

7. 講演, 放送

- 1) ヒューマンサービス公開講座「病人史から学ぶヒューマンサービス」、2024. 6, 2024. 5. 25
- 2) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育「ソーシャルワークの本質としてのヒューマンサービスの理解」, 2024. 6. 8
- 3) 藤沢北部エリア在宅勉強会「困難事例への向き合い方～リフレクティング・プロセスを通して」, 2024. 11. 15

9. 学内教育活動

- 1) 博士前期課程、博士後期課程
修士論文指導3名、指導補助2名、博士論文指導補助1名, 2024
- 2) 実践教育センター
介護教員養成コース「社会福祉学」講師, 2024. 5
- 3) 学部
国家試験対策講座「保健医療サービス」講師, 2024. 12
学生サークル「バスケットボール」顧問, 2005～
- 4) 博士後期課程
博士論文予備審査・本審査、主査1名, 2024. 11, 2025. 1
- 5) 博士前期課程
修士論文主査1名、副査2名, 2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 教育研究審議会委員, 2019. 4～
- 2) 学長補佐会議委員, 2019. 4～

- 3) 自己点検・内部質保証審査委員会委員, 2021. 4～
- 4) ヒューマンサービスセンター長, 2023. 4～
- 5) 研究科運営会議委員, 2023. 4～
- 6) 研究科カリキュラム等検討委員会委員, 2023. 4～

13. 受賞

- 1) 東京消防庁, 消防行政協力章, 2025年03月

15. その他

- 1) 救急救命士養成課程研修講師

玉川 淳（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 単著, 玉川淳, 2024年06月, 日本語, 三訂介護福祉士養成実務者研修テキスト 第1巻人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ・Ⅱ, 地域共生社会の実現に向けた制度や施策、第5章第5節 地域における保健医療福祉サービスの提供体制, 一般財団法人長寿社会開発センター, 145-153、288-297、300
- 2) 単著, 玉川淳, 2024年07月, 日本語, 三訂介護職員初任者研修テキスト, 科目3第1章第1節 介護環境の特徴の理解, 一般財団法人長寿社会開発センター, 98-105

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, 玉川淳, 2024年12月, 日本語, 介護保険と地方公共団体, 査読あり, 社会保障法, 第40号, 8-21
- 2) その他（報告等）, 筆頭著者・責任著者, 玉川淳, 2025年02月, 日本語, 貧困ビジネスに関する契約と公序良俗, 査読なし, 社会保障判例百選〔第6版〕, 186-187
- 3) 原著論文, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子., 2025年01月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ, 査読あり, 日本保健医療福祉連携教育学会学術誌・保健医療福祉連携, 17 巻 2 号, 146-156, 10.32217/jaibe.17.2_105
- 4) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

3. その他の著作

- 1) 玉川淳, 2024年09月, 文献紹介 渡部沙織著『難病政策の形成と変容—疾患名モデルによる公費医療のメカニズム』, 年報医事法学39号, 190-195

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 玉川淳, 介護保険と地方公共団体, 日本社会保障法学会第79回大会, 2024年05月

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 理事, 2023年3月～
- 2) 横須賀市児童福祉審議会, 子ども育成分科会長, 2020年4月～
- 3) 横須賀市社会福祉審議会, 福祉専門分科会長, 2022年4月～
- 4) 逗子市地域包括ケア会議, アドバイザー, 2023年7月～
- 5) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会, 委員長, 2025年1月～
- 6) 葉山町地域密着型サービス運営委員会, 委員長, 2025年1月～
- 7) 葉山町地域包括支援センター運営協議会, 委員長, 2025年1月～
- 8) 社会福祉振興・試験センター介護支援専門員実務研修受講試験委員会, 幹事委員, 2020年4月～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 4
- 2) ミニオープンキャンパス 個別相談担当, 2025. 3. 27

7. 講演，放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育（社会福祉士実習指導者講習会）「ケアマネジメント論」, 2024. 6. 29

8. 学会等での活動

- 1) 日本社会保障法学会第79回大会シンポジウム・シンポジスト, 2024. 5. 25

9. 学内教育活動

1) 学部

ヒューマンサービス総合演習の教材作成, 2024年11月

人権・ジェンダー、地域保健医療福祉連携論、ヒューマンサービス総合演習、保健福祉行政論といった連携実践科目の担当教員, 2024年

卒業研究における論文作成の指導（4名）, 2024年11月

社会福祉士国家試験対策講座（社会保障論）, 2024年12月

公務員受験対策講座（公務員となるためには）, 2024年5月

2) 博士前期課程

ヒューマンサービス特論・演習、ヒューマンサービス特論（SHI）、人事管理・育成論の担当教員, 2024年

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会, 2024. 4
- 2) 人権・倫理委員会, 2024. 9
- 3) ヒューマンサービスセンターヒューマンサービスパーチ, 2021. 4

中村美安子（大学院保健福祉学研究科兼務）

3. その他の著作

- 1) 中村美安子, 2024年09月, 活動のヒントポイント「市町村民児協発研究活動レポートNO. 52」, 神奈川県民生委員児童委員協議会民児協だより, 第158号（5）, 横須賀市民生児童委員協議会の活動強化方策策定支援の取り組み事例にコメントした
- 2) 中村美安子, 2025年03月, 各委員からひとこと, 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画「みんなで描く大和のふくしパレット」, 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画（65）

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局, 社会福祉推進事業評価委員会委員（2023. 6～）委員長, 2011. 9～
- 2) 神奈川県, 神奈川県地域福祉支援計画評価・推進等委員会委員, 2023. 9～
- 3) 横浜市, 福祉のまちづくり推進会議副委員長, 2013. 7. ～
- 4) 横浜市, 介護保険運営協議会委員, 2018. 8～
- 5) 横浜市, 福祉のまちづくり推進会議小委員会副委員長, 2022. 3～
- 6) 横浜市, 福祉のまちづくり推進会議専門委員会委員, 2023. 3～
- 7) 横浜市, よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営選定等委員会委員, 2021. 6～
- 8) 横浜市旭区, 地域福祉保健推進会議委員, 2024. 4～
- 9) 横浜市旭区, 地域福祉保健計画策定検討部会座長, 2024. 4～
- 10) 東京都狛江市, 市民福祉推進委員会委員, 2024. 4～
- 11) 東京都狛江市, 市民福祉推進委員会高齢小委員会委員長, 2024. 5～
- 12) 東京都狛江市, 介護保険推進市民協議会委員長, 2024. 11～
- 13) （福）全国社会福祉協議会, 全国民生委員児童委員連合会地域福祉推進部会委員, 2011. 5～
- 14) （福）全国社会福祉協議会, 全国民生委員児童委員連合会地域福祉推進部会活動記録区分等見直し作業委員会委員長, 2023. 12～
- 15) （福）全国社会福祉協議会, 全国民生委員児童委員連合会市区町村民生委員児童委員協議会・法定単位民生委員児童委員協議会活動実態調査準備委員会委員, 2022. 3～
- 16) （福）大和市社会福祉協議会, 地域福祉活動計画推進委員会委員, 2013. 9～
- 17) （福）狛江市社会福祉協議会, 地域福祉活動計画策定委員会副委員長, 2016. 6. ～
- 18) （福）狛江市社会福祉協議会, コミュニティソーシャルワーカーアドバイザー, 2018. 4～
- 19) （福）神奈川県社会福祉協議会, 神奈川県民生委員児童委員協議会総合企画委員会委員. , 2020. 11～
- 20) （福）横浜市福祉サービス協会, 理事, 2019. 6～
- 21) 神奈川県弁護士会, 人権賞選考委員会副委員長, 2024. 9～
- 22) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス学会, 編集委員, 2023. 7～

6. 社会貢献

- 1) 国際協力機構主催. チリ「ケアするコミュニティ」プロジェクト本邦研修 視察先紹介と調整, 2024. 5, チリSENAMA本部および担当州事務所担当者の視察地域先の紹介、調整を行った
- 2) 実践教育センター主催. 教員・教育担当者養成課程介護コース 社会福祉学の講義担当, 2024. 6
- 3) 社会福祉学科主催. 実習指導者講習会 実習概論の講師担当, 2024. 6
- 4) オープンキャンパス 相談担当, 2024. 8
- 5) ミニオープンキャンパス 相談担当, 2025. 3

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県主催. (事務局: 神奈川県社会福祉協議会). 市民後見人養成講座(基礎研修). 鎌倉市と藤沢市の市民を対象に「第1講『地域福祉論』」を講義, 2024. 7~8, オンデマンド
- 2) 神奈川県主催. (事務局: 神奈川県社会福祉協議会). 市民後見人養成講座(基礎研修). 綾瀬市民を対象に「第1講『地域福祉論』」を講義, 2024. 1~2, オンデマンド
- 3) 国際協力機構主催. チリ「ケアするコミュニティ」プロジェクト本邦研修. チリSENAMA本部および担当州事務所担当者を対象に「住民参加型地域ケアとそれを支える仕組み」をテーマに講義及び討議セッションでの助言, 2024. 8
- 4) 厚木市相川地区民生児童委員協議会主催. 地区研修会. 民生委員児童委員を対象に「災害に備える民生委員・児童委員活動」をテーマに講義, 2024. 8
- 5) 神奈川県民生児童委員協議会主催. 地域版活動強化方策策定支援研修会. 講義とグループディスカッションの助言、総括, 2025. 1
- 6) 茅ヶ崎市民生児童委員協議会主催. 全体研修会. 「民生委員に求められる役割」をテーマに講義, 2025. 2
- 7) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事春期コース第4回集合研修. 福祉施設職員等を対象に地域福祉論の講義, 2024. 6
- 8) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事春期コース第7回集合研修. 福祉施設職員等を対象に地域福祉論の講義, 2024. 9
- 9) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事秋期コース第1回集合研修. 福祉施設職員等を対象に地域福祉論の講義, 2025. 2
- 10) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催. 社会福祉主事資格認定通信課程民間主事秋期コース第6回集合研修. 福祉施設職員等を対象に地域福祉論の講義, 2025. 3
- 11) 川崎市宮前区第一地区社協ボランティア育成部会主催. ボランティアセミナー. シニアボランティアを対象に「地域が元気になる秘訣」をテーマに講義, 2024. 9
- 12) 逗子市社会福祉協議会主催. ボランティア入門講座のオンデマンドの全体講義. 市民を対

象に「できることで参加する地域づくり」をテーマに講義, 2024. 10

9. 学内教育活動

1) 学部

1) 令和6年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」の国家試験対策資料作成及び講師, 2024. 12

チューターとして12名を担当. 2回開催し2回目は5月に小グループで4回に分けて開催, 2024. 4～5

学生ボランティアセンター顧問, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

1) 広報委員会 委員長, 2021. 4～

2) 大学院研究科運営委員, 2024. 4～

3) 「神奈川県立保健福祉大学大学案内2026」制作業務委託審査委員会 委員長, 2024. 9

4) 学科SNS 運用責任者, 2022. 4～

5) 社会福祉学科内研究会担当, 2024. 4～

6) 6) 学科FD副担当, 2024. 4～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 基盤研究 (C), 代表者, 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛, 住民福祉活動拠点の確保における空き家活用方策に関する研究, 3, 380千円, 2019年04月, 2025年03月

15. その他

1) 国際協力機構主催. チリ「ケアするコミュニティ」プロジェクト本邦研修において、チリSENAMA本部および担当州事務所担当者の視察地域の紹介、調整を行った。

2) 神奈川県内市区町村社会福祉協議会全数を対象に、地域の担い手の実態調査『地域福祉推進組織（地区社協等）の担い手に関する調査』を、神奈川県社会福祉協議会の協力を得て実施（2～3月）。回収率75.9%。結果を神奈川県社協と県内全市区町村社協に報告・周知した。

西村 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 西村淳, 2024年05月, 日本語, 講座・現代社会保障法学の論点（上）, 第11章 社会保障法に隣接する諸学, 日本評論社, 337－358
- 2) 共著, 西村淳, 2024年11月, 日本語, 社会福祉（新体系看護学全書・健康支援と社会保障制度③）, 第4章 社会福祉の歴史と動向第5章 社会福祉の諸制度と施策, メヂカルフレンド, 111-208
- 3) 共著, 西村淳, 2025年01月, 日本語, 社会保障（社会福祉学習双書2025⑥）, 第7章 医療保険制度の概要、第8章 介護保険制度の概要、第12章 諸外国における社会保障制度の概要, 全国社会福祉協議会, 178-227, 302-326
- 4) 共著, 西村淳, 2025年01月, 日本語, 社会保障（最新社会福祉士・精神保健福祉士養成講座⑦）, 第5章第3節 年金制度の概要, 中央法規, 159-195
- 5) 共著, 西村淳, 2025年03月, 日本語, ソーシャルワーク法, 第14章 ソーシャルワークと法、第15章 ソーシャルワークと権利擁護、第16章 ソーシャルワークの資格と人材, 日本評論社, 182-219
- 6) 共著, 西村淳, 2025年03月, 日本語, 高齢者法の理論と実務, 第6章 高齢者の経済的問題に関する法制度, 中央経済社, 149-171

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者, 西村淳, 2024年10月, 日本語, 孤独・孤立対策推進法の施行と今後の展望, 査読なし, ソーシャルワーク研究, 8号, 239-247
- 2) 総説論文, 筆頭著者, 西村淳, 2024年11月, 日本語, 2023年度学界回顧と展望：社会保障・社会福祉政策部門, 査読なし, 社会福祉学, 65巻3号, 95-104
- 3) 原著論文, 筆頭著者, 西村淳, 2025年02月, 日本語, 医療保護入院下の身体拘束・死亡と損害賠償, 査読なし, 社会保障判例百選（第6版）別冊ジュリスト, 269号, 218-219
- 4) 原著論文, 筆頭著者, 西村淳, 2025年03月, 日本語, 社会保障の法概念論・序説, 査読あり, 年報公共政策学, 19号, 1-16

3. その他の著作

- 1) 西村淳, 2024年04月, 子ども・子育て支援金と税・社会保険, 週刊社会保障3264, 32-33
- 2) 西村淳, 2024年06月, 給付から就労・参加支援へ, 週刊社会保障3273, 26-27
- 3) 西村淳, 2024年07月, 死に関する統計, 厚生統計71巻7号, 34
- 4) 西村淳, 2024年11月, 居場所づくり, 週刊社会保障3292, 26-27
- 5) 西村淳, 2024年11月, 生に関する統計, 厚生統計71巻13号, 34
- 6) 西村淳, 2024年12月, 書評・石橋敏郎著『社会保障の新たな展開と社会保障法』, 社会保障法

40号

- 7) 西村淳, 2025年01月, 地域支援の現在, 週刊社会保障3301, 28-29
- 8) 西村淳, 2025年03月, 年金制度改正案の評価, 週刊社会保障3309

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 西村淳, 社会保障の法概念論, 東京社会保障法研究会, 2024年07月
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, 西村淳, ソーシャルワークの法的分析, 東京社会保障法研究会, 2025年01月
- 3) , , , , ,

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会, 理事, 通年
- 2) 横浜市国民健康保険運営協議会, 会長, 通年
- 3) 横須賀市人権施策推進会議, 委員長, 通年
- 4) 横須賀市社会福祉審議会, 高齢福祉専門分科会長, 通年
- 5) 年金シニアプラン総合研究機構, 『年金と経済』編集委員, 通年
- 6) 北海道大学公共政策学研究センター, 研究員, 通年

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 相談担当, 45505
- 2) 横須賀市医師会・横須賀の2040年を考える会「社会的処方学習会2025」における講演, 2025年3月

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県労働大学での講義「年金保険制度」「医療保険制度」「介護保険制度」, 2024年11月
- 2) 北海道大学公共政策大学院での講義「ソーシャルワークと法政策」, 2023年12月

9. 学内教育活動

1) 学部

保健医療福祉論Ⅱ・社会保障論, 2024年度前期
権利擁護と成年後見制度・社会福祉の法と制度・福祉の哲学・法と人間, 2024年度後期
社会福祉専門演習ⅠⅡ, 2024年度
卒業研究指導, 2024年度

2) 博士前期課程

保健福祉行政特論・保健福祉人材育成論, 2024年度
修士論文指導, 2024年度

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会（副委員長）, 2024年度

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（B）, 代表者, 西村淳, ソーシャルワークの法理論の構築, 2, 700千円, 2022年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究（A）, 分担者, 西村淳, 財産権論の再構成に関する学際的研究—シェア・ライセンス・コモンズ, 150千円, 2023年04月, 2028年03月
- 3) 基盤研究（C）, 分担者, 西村淳, 外国人介護労働者の定着に関する研究—年金・医療を中心とする社会保障に焦点を当てて, 50000, 2022年04月, 2025年03月

行實志都子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 行實志都子他, 2024年10月, 日本語, Q&A 障害者福祉・支援の手引き, 障害福祉の現場におけるハラスメント対策は, 新日本法規出版

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 湯沢由美, 山口創生, 行實志都子, 八重田淳, 2024年12月, 日本語, Comprehensive Relative Autonomy Index (C-RAI) 日本語版の信頼性・妥当性の検証 - 精神疾患を伴う人の自律的動機付けの理解に向けて., 査読あり, 臨床精神医学, 1391-1399. , 53(11), , 1391-1399.

3. その他の著作

- 1) 菊本圭一、八重樫譲、行實志都子、吉田展章, 2025年03月, 神奈川県相談支援専門員人材育成ビジョン, 神奈川県障害者自立支援協議会作成, 神奈川県人材育成ビジョン

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 森田久美子、行實志都子他, 精神保健福祉士はヤングケアラーをどのように見ているか～精神保健福祉士のヤングケアラーについての意識調査より, 日本精神保健福祉士協会第23回学術大会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会, 理事, 2021. 6～
- 2) 日本職業リハビリテーション学会, 理事, 2023. 4～
- 3) 精神保健福祉士国家試験委員, 作問, 2020. 5～
- 4) 埼玉県三芳町自立支援委員会, 会長, 2010. 4～
- 5) 川崎市障害者自立支援委員会, 会長, 2016. 4～
- 6) 横浜市精神医療審査会, 予備委員, 2018. 4～
- 7) 川崎市指定管理者選定委員会, 委員, 2018. 4～
- 8) 川崎市文化賞・社会貢献賞・スポーツ賞・アゼリア省選考委員会, 委員, 2019. 7～
- 9) 川崎市第5次・第6次かわさきノーマライゼーション策定委員会（障害者計画）, 委員, 2020. 4～
- 10) 渋谷区医療的ケア児支援機関関係協議会, 会長, 2021. 1～
- 11) 鎌倉市障害者二千人雇用推進協議会, 会長, 2022. 10～
- 12) 横須賀市ひきこもり支援連絡協議会, 会長, 2022. 10～

- 13) 横須賀市精神保健福祉連絡協議会, 会長, 2024. 4～
- 14) 神奈川県相談支援専門員人材育成ビジョン改訂ワーキンググループ 委員, 委員, 2024. 4～
- 15) 社会福祉法人結いの会オフィスクローバー, 理事, 2013. 1～
- 16) 神奈川県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会 委員, 委員, 2016. 4～
- 17) 社会福祉法人 横浜市社会事業協会 理事, 理事, 2023. 4～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別面談担当, 2024. 8. 2025. 3
- 2) 高校訪問, 2024. 9
- 3) アステラス製薬株式会社 ピアサポート研究, 2015. 4～
- 4) 横須賀三浦地区精神保健福祉士協会会合, 2020. 6～
- 5) ファイザー株式会社 VHO-net ピアサポート研究, 2024. 4～

8. 学会等での活動

- 1) 第23回精神保健福祉士協会学術集会 座長, 2024. 9. 27～28
- 2) 第23回精神保健福祉士協会学術集会 シンポジウム司会, 2024. 9. 27～28

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理委員会, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 行實志都子, ピアサポートによる精神障害者のキャリアデザイン開発一当事者性を活かして一, 4, 550千円, 2022年04月, 2026年03月

15. その他

- 1) 法政大学非常勤講師
- 2) 駒澤大学非常勤講師
- 3) 大妻女子大学非常勤講師
- 4) 日本福祉大学非常勤講師

在 原 理 恵 （大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 島崎由宇, 在原理恵, 2025年03月, 日本語, グループホーム 一人ひとりの生き方を大切に, 第4章 グループホームの運営で大切なこと, Sプランニング, 94-118

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 在原理恵, 障害のある人の小規模な共同生活の「施設性」をとらえる視点, 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 研究発表会2024, 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会, 運営委員, 2010. 6～
- 2) 神奈川県障害者施策審議会, 委員, 2016. 6～
- 3) 神奈川県障害者介護給付費等不服審査会, 会長, 2019. 4～
- 4) 神奈川県地域生活移行推進民間提案事業, 評価委員, 2023. 8～
- 5) ヒューマンサービス学会第2回学術集会, 企画委員, 2024 年1月18日～2024 年12月25日
- 6) ヒューマンサービス学会, 財務委員会委員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 企画運営担当, 2024. 8. 3, 4
- 2) ミニオープンキャンパス 企画運営, 個別相談担当, 2025. 3. 27

9. 学内教育活動

- 1) 学部
国家試験対策講座「障害者福祉論」「社会福祉調査の基礎」, 2024. 12

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員, 2024. 4, 自己評価専門部会
- 2) 学科オリエンテーション企画運営担当, 2024. 4
- 3) 入学式, 卒業式担当, 2024. 4

石井 忍（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 川井太加子, 高木直美、石井忍他, 2024年04月, 日本語, 介護過程, 高等学校福祉科用, 実教出版, 第1編2章, 第2編3章, 第3編1章, 文科省検定済教科書

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本介護福祉士会, 専門誌「介護福祉士」論文査読委員, 2020. 10～
- 2) 神奈川県介護養成施設協会, 運営委員, 2003. 4～

6. 社会貢献

- 1) 社会福祉法人三育福祉会 シヤローム浦上台 第三者委員, 2010. 4～
- 2) オープンキャンパス 模擬授業担当, 2024. 8. 3
- 3) 神奈川県立市ヶ尾高校 出張授業, 2024. 5. 13
- 4) 神奈川県立厚木王子高校 出張授業, 2024. 6. 14
- 5) 関東学院六浦高校 出張授業, 2024. 7. 11
- 6) 神奈川県立松陽高校 出張授業, 2024. 12. 17
- 7) 神奈川県立鶴峰高校 出張授業, 2025. 3. 21
- 8) 学科ミニオープンキャンパス 個別相談担当, 2025. 3. 27

9. 学内教育活動

1) 学部

卒業研究, 2024年度
専門演習Ⅰ・Ⅱ, 2024年度
介護過程Ⅱ, 2024年度前期
レクリエーション活動援助法, 2024年度前期
介護技術演習Ⅲ, 2024年度後期
介護技術方法論, 2024年度後期
介護福祉実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 2024年度

10. 学内各種委員会活動

- 1) 動物実験専門部会, 2024. 4

大島 憲子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

3. その他の著作

- 1) 大島 憲子, 2025年03月, 第12回かながわ感動介護大賞作品集「ありがとうを届けたい」総評, 神奈川県第12回かながわ感動介護大賞作品集, 23ページ

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市介護保険運営協議会, 委員, 副委員長 (2023～), 2014. 9～現在
- 2) 神奈川県在宅医療推進協議会, 委員, 2015. 2～現在
- 3) 神奈川県地域包括ケア会議, 副委員長, 2015. 2～現在
- 4) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会, 委員, 2015. 9～現在
- 5) 神奈川県介護予防市町村支援委員会, 委員, 2015. 9～現在
- 6) かながわ感動介護大賞実行委員会, 委員, 2018. 7～現在
- 7) かながわ感動介護大賞選考委員会, 委員, 2018. 7～現在
- 8) 神奈川県社会福祉審議会, 委員, 2018. 8～現在
- 9) 神奈川県民生委員審査専門分科会, 座長, 2018. 11～現在
- 10) 神奈川県大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議会, 委員, 2019. 6～現在
- 11) 神奈川県薬事審議会, 分科会長, 2021. 6～現在
- 12) 神奈川県介護現場革新会議, 委員, 2024. 7～現在
- 13) 神奈川県保健医療計画推進会議, 委員, 2025. 1～現在
- 14) (厚生労働省) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法の広報及び認知症施策推進計画の策定促進に向けた広報一式に係る「提案書審査委員会」, 委員長, 2024. 4～2024. 8
- 15) (厚生労働省) 大阪・関西万博における認知症に関する情報発信事業の展示物に関する広報作業一式に係る提案書「提案書審査委員会」, 委員, 2024. 6～2024. 9
- 16) (厚生労働省) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づく都道府県・市町村の認知症施策推進計画の策定促進に向けた広報一式に係る「提案書審査委員会」, 委員長, 2025. 1～2025. 3
- 17) 一般社団法人 日本認知症ケア学会, 評議員 (代議員), 2006. 4～
- 18) 一般社団法人 日本認知症ケア学会 「日本の認知症ケア学会誌」, 査読委員, 2006. 4～
- 19) 一般社団法人 日本認知症ケア学会認知症ケア専門士, 論文審査員・面接員, 2006. 4～
- 20) 一般社団法人 日本認知症ケア学会認知症ケア専門士, 試験問題作成委員, 2006. 4～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 学科説明担当, 2024. 8. 4
- 2) ミニオープンキャンパス, 2025. 3. 27

9. 学内教育活動

1) 学部

新入生チューター会担当, 2024. 4～2024. 8

介護技術演習Ⅳ（医療的ケア）の視聴覚教材作成, 2024. 5

形態別介護技術演習Ⅰの視聴覚教材作成, 2024. 5

認知症ケア論Ⅱの視聴覚教材作成, 2024. 9

学生支援活動（茶道サークル）顧問, 2018. 4～現在

社会福祉学科介護福祉士コースコース長, 2020. 4～現在

2) 博士前期課程

修士論文（研究）指導, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

1) 研究委員会, 2024. 4～

2) 研究助成選考専門部会, 2024. 4～

13. 受賞

1) 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学, 第1回 学長表彰, 2024年03月, 受賞業績：介護福祉士養成における丁寧で粘り強い教育の遂行

川村隆彦（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

3. その他の著作

- 1) 川村隆彦, 2025年01月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第1回 心のコップと命の水」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach/127502>
- 2) 川村隆彦, 2025年01月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第2回 心のコップの正確な位置を知る一心の3層構造」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach/128058>
- 3) 川村隆彦, 2025年02月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第3回 理想と現実」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach/129039>
- 4) 川村隆彦, 2025年02月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第4回 Active Listening」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach/129767>
- 5) 川村隆彦, 2025年03月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第5回 エンパワメント8つの力（1）」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach/130330>
- 6) 川村隆彦, 2025年03月, 「ソーシャルワーカーに知ってほしい理論とアプローチのエッセンスー 第6回 エンパワメント8つの力（2）」, けあサポ 専門職応援 介護・福祉の応援サイト 中央法規出版, <https://www.caresapo.jp/senmon/social-worker-approach>

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会, 査読委員, 2006. 1. 1～
- 2) 日本ソーシャルワーク学会, 査読委員, 2013. 10～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 模擬授業担当, 2025. 3. 27

7. 講演, 放送

- 1) 専門職の基盤と倫理 東京都社会福祉士会, 2024. 9. 14
- 2) エンパワメント／高齢者虐待対応 東京都保健福祉財団, 2024. 11. 13
- 3) ソーシャルワーカーの理想と現実 明治学院大学社会学部附属研究所, 2024. 11. 30

9. 学内教育活動

1) 社会福祉学科

ソーシャルワークⅠ、ソーシャルワーク演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ソーシャルワーク実習Ⅰ、Ⅱ、実習指導Ⅰ、Ⅱ、社会福祉専門演習Ⅱ、卒業論文にて教材作成, 2024. 4
社会福祉学科 実習責任者, 2024. 4

2) 保健福祉学部

保健医療福祉論Ⅰ 科目担当者, 2024. 4
人間関係とコミュニケーションⅡにおいて教材作成, 2024. 10

10. 学内各種委員会活動

1) 図書委員, 2024. 4

2) 地域貢献専門部会, 2024. 4

吉中 季子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編, 2024年05月, 日本語, 社会福祉士国家試験過去問解説集2025, 「低所得者に対する支援と生活保護制度」, 中央法規出版, 88-89
- 2) 共著, 社会福祉法人全国社会福祉協議会編（宮本太郎・西村淳編）（武川省吾・宮本太郎・小野太一・宇野裕・堀田一吉・川久保寛・西村淳・北岡大輔・吉中季子・寺田誠）, 2025年03月, 日本語, 社会福祉学習双書 第6巻 社会保障, 第10章「社会福祉制度の概要」, 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 270-303
- 3) 共著, 西村淳編著（西村淳・吉中季子・川久保寛・玉垣淳 共著）, 2024年11月, 日本語, 新体系看護学全書）健康支援と社会保障制度③『社会福祉』, 第1章 生活と社会福祉, メヂカルフレンド社, 1-28

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者, 吉中季子, 2025年03月, 日本語, 「女性の貧困と年金」に関する構造的分析—シングルマザー／寡婦の公的年金制度への対応を中心に—（博士論文）, 査読あり, （大阪公立大学現代システム科学研究科現代システム科学専攻社会福祉学分野）論文博士（社会福祉学）

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会, 査読委員, 2023. 1. 1～
- 2) 社会政策学会, 学会誌編集委員, 2024. 5. 1～
- 3) 社会政策学会, ジェンダー部会運営委員, 2022. 4. 1～
- 4) 社会政策学会, 社会的排除／包摂部会運営委委員, 2023. 5. 1～
- 5) 貧困研究会（学会 日本学術振興会協力団体）, 運営委員, 2017. 4. 1～
- 6) 貧困研究会（学会 日本学術振興会協力団体）, 選挙管理委員会委員長, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 7) 貧困研究会（学会 日本学術振興会協力団体）, 広報委員, 2023. 4. 1～2025. 3. 31
- 8) 貧困研究会（学会 日本学術振興会協力団体）, 事務局委員, 2017. 4. 1～
- 9) 厚生労働省 社会・援護局, 令和7年度「困難な問題を抱える女性の支援に関するプラットフォーム構築事業」評価検討委員, 2025. 2. 1～2025. 3. 31
- 10) 厚生労働省 社会・援護局, 「女性相談支援員向け研修の教材作成及び実施方法に関する調査研究事業」研修委員（2025年3月31日迄）, 2024. 10. 1～2025. 3. 32
- 11) 三浦市, 男女共同参画懇談会 座長, 2019. 1～
- 12) 鎌倉市, 国民健康保険運営協議会委員, 2022. 10～

- 13) 葉山町, 民生委員推薦会委員, 2016. 11～
- 14) 公益社団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団, 評議員, 2023. 11～
- 15) 社会福祉法人 神奈川県民生福祉協会 神奈川県女性自立支援施設 (旧さつき寮), 評議員, 2023. 5～

6. 社会貢献

- 1) 特定非営利活動法人 女性サポートAsyl(あじーる) (生活困窮者一時支援事業)
理事長, 2015. 5～
- 2) 特定非営利活動法人 ひまわり (ひとり親・子ども・若者支援) (神奈川県横須賀市)
副理事長, 2022. 12～
- 3) 神奈川県 令和6年度生活保護業務担当職員スキルアップ研修事業 研修講師, 2024. 10. 30
, テーマ: 生活保護の実施について 於: 横浜市福祉保健研修交流センター
- 4) 逗子市 令和7年度地域福祉推進事業 啓発講座 基調講演, 2025. 3. 16, 主催: 逗子市・逗子市社会福祉協議会 テーマ: 子どもに広がる見えない貧困 基調講演 於: 逗子市市民交流センター
- 5) 神奈川県かながわ子どものみらい応援団 (神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部次世代育成課主催), 2022. 1. 31～, 神奈川県かながわ子どものみらい応援団 (神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部次世代育成課主催) 【子どもにひろがる見えない貧困 (神奈川県ホームページ)】 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza_yoshinaka.html

7. 講演, 放送

- 1) 週刊『女性自身』(光文社) 「現在50歳の25年後独り暮らし悲惨予想図」 pp. 114-117. (6月4日号 (2024年5月21日発行) 第67号第18号、コメント掲載。), 2024. 5. 21, コメント掲載
- 2) 北海道新聞「女性の低年金 税負担で「最低保障」導入」, 2024. 10. 20, コメント掲載
- 3) 神奈川新聞「#ジェンダー×国際女性デー 困難女性支援法1年一県独自、通所型で切れ目なく 民間と協働」1面, 2025. 3. 7, コメント掲載
- 4) 神奈川新聞「DV認定ハードル高く 国連委研修の必要性指摘 「裁判官の能力強化を」」2面, 2025. 3. 7, コメント掲載

9. 学内教育活動

1) 学部

学部授業, 2024, 公的扶助論、社会福祉の原理と政策、ソーシャルワーク実習指導、人権とジェンダー (オムニバス担当)、専門演習I・II、卒業研究
公務員・受験対策, 2024, 模擬面接の学内のコーディネートと実施

国家試験対策講座, 2024, 公的扶助論、社会福祉の原理と政策、を担当

2) 大学院

大学院授業, 2024, 低所得者福祉特論

3) 実践教育センター

実践教育センター講義, 2024, 社会福祉学（介護コース科目）6コマ（12時間）担当

10. 学内各種委員会活動

1) 全学教務委員会, 2023. 4～

2) 公立大学協会・社会福祉学系部会担当, 2017. 4～, 社会福祉学系部会の資料作成をとりまとめ・会議参加)

3) ソーシャルワーク教育連盟担当, 2018. 4～2025. 3

4) ソーシャルワーク教育連盟・関東甲信越ブロック担当, 2024. 4～2025. 3

5) ソーシャルワーク教育連盟担当 神奈川支部担当, 2024. 4～2025. 3, 2024年度は幹事校として、事務手続きも含め、支部全体の連絡調整と会議体、各学校・大学の連携を構築した。

11. 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

1) 基盤研究（C）, 代表者, 吉中季子, 女性のライフステージにおける公的年金制度加入と貧困の研究, 2, 600千円, 2022年04月, 2026年03月

2) 基盤研究（A）, 分担者, 松本伊智朗（研究代表者 北海道大学・教育学研究院・教授）, 関あゆみ, 加藤弘通, 丸山里美, 大谷和大, 鳥山まどか, 田中智子, 上山浩次郎, 吉中季子, 大澤真平, 川田学, 新藤こずえ, 吉中季子, 子ども・子育て家族の貧困と政策・実践：「包括的最低限保障」の構想のために, 41, 990千円, 2021年04月, 2026年03月

3) 基盤研究（B）, 分担者, 小関隆志（研究代表 明治大学・経営学部・教授）, 佐藤順子, 角崎洋平, 野田博也, 吉中季子, 日本に住む外国人に対する金融包摂の方策, 17, 030千円, 2021年04月, 2025年03月

4) 基盤研究（B）, 分担者, 鳥山まどか（北海道大学大学院・教育学研究院・准教授）, 松本伊智朗, 丸山里美, 田中智子, 吉中季子, 世帯内に隠れた貧困の実証的把握：貧困研究の方法の再検討, 11, 440千円, 2020年04月, 2025年03月

15. その他

1) 関東学院大学非常勤講師, 看護学科（担当：社会保障）

2) 佐久大学非常勤講師, 人間福祉学部（担当：ジェンダー論）

種田 綾乃 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1. 著書

- 1) 共著, 池田朋広・石川亜弓監訳, 青木彩香・江島智子・長谷川恵子・種田綾乃・小松崎智恵
翻訳, 松本俊彦・大島巖編集協力, 2024年08月, 日本語, 併存性障害 (重複障害) のための統合治療, Team D-DRoPS (併存性障害支援プロジェクトチーム), 266-296

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Utako Sawada, Asami Matsunaga, Ayano Taneda, Natsu Sasaki, Sosei Yamaguchi, 2024年11月, 英語, Perspectives of people with schizophrenia on clinical outcome scales and patient-reported outcome measures: a qualitative study, 査読あり, BMC Psychiatry, 24(1), DOI : 10.1186/s12888-024-06292-z

3. その他の著作

- 1) 岩崎香, 秋山剛, 秋山浩子, 安部恵理子, 飯山和弘, 五十嵐信亮, 井谷重人, 市川剛, 岩上洋一, 内布智之, 太田令子, 小笠原啓人, 門屋充朗, 彼谷哲志, 桐原尚之, 小阪和誠, 栄セツコ, 佐々木理恵, 島津渡, 四ノ宮美恵子, 平良幸司, 種田綾乃, 堤愛子, 土屋和子, 陶かい, 東海林崇, 中田健士, 永森志織, 蛭川涼子, 又村あおい, 三原睦子, 三宅美智, 宮本有紀, 森幸子, 矢部滋也, 山口創生, 吉野智, 2025年03月, 障害者ピアサポート研修事業ガイドブック, 厚生労働省のホームページ, https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_41994.html
- 2) 尾形多佳士, 岡本秀行, 的場律子, 大塚直子, 阿部祐太, 岡安努, 北岡祐子, 熊取谷晶, 黒下良一, 三溝園子, 橘武蔵, 種田綾乃, 羽野宏美, 2024年06月, 「精神医療審査会に携わる精神保健福祉士に対するグループインタビュー調査」報告書, 日本精神保健福祉士協会のホームページ, <https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/202406shinsakai-gi.html>

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 熊取谷晶, 阿部祐太, 尾形多佳士, 大塚直子, 岡本秀行, 岡安努, 北岡祐子, 黒下良一, 三溝園子, 橘武蔵, 種田綾乃, 羽野宏美, 的場律子, 精神医療審査会において精神保健福祉士が専門性を発揮するために (第1報) ～保健福祉委員に対するフォーカスグループインタビューから見てきた課題～, 第59回日本精神保健福祉士協会全国大会／第23回日本精神保健福祉士学会学術大会, 2024年09月
- 2) 口頭, 共同研究者, 羽野宏美, 阿部祐太, 尾形多佳士, 大塚直子, 岡本秀行, 岡安努, 北岡祐子, 熊取谷晶, 黒下良一, 三溝園子, 橘武蔵, 種田綾乃, 的場律子, 精神医療審査会において精神保健福祉士が専門性を発揮するために (第2報) ～保健福祉委員に対するフォーカスグループインタビューから見てきた専門性や視点～, 第59回日本精神保健福祉士

協会全国大会／第23回日本精神保健福祉士学会学術大会, 2024年09月

- 3) ポスター, 共同研究者, 橋本早苗, 小笠原啓人, 彼谷哲志, 桐原尚之, 近藤友克, 斎藤健, 栄セツ子, 田中洋平, 種田綾乃, 中田健士, 矢部滋也, 山口創生, 宮本有紀, 岩崎香, 都道府県・政令指定都市を対象とした障害者ピアサポート研修事業の実態調査, 第31回日本精神障害者リハビリテーション学会東京お台場大会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会, 精神医療委員会, 2024. 4. 1～
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会, 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者, 2017. 10. 1～
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会, 研修委員, 2018. 7. 1～
- 4) 日本精神障害者リハビリテーション学会, 野中賞選考委員, 2021. 4. 1～
- 5) 秦野市教育委員会・教育研究所, 専門相談員 (スクールソーシャルワーカー), 2018. 4. 1～
- 6) 平塚保健福祉事務所秦野センター, 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 アドバイザー, 2019. 10. 1～
- 7) 秦野市いじめ問題対策調査委員会 (秦野市教育委員会), 委員, 2021. 4. 1～
- 8) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 神奈川支部, 運営委員, 2023. 4. 1～
- 9) 神奈川県福祉こどもみらい局子どもみらい部, 社会的養育推進計画改定に係る自立支援ワーキンググループ 委員, 2024. 1. 1～
- 10) 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」, アドバイザー, 2019. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 学科運営担当, 2020. 4. 1～
- 2) 学科SNS運用担当, 2024. 4. 1～
- 3) 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」の「秦野市ピア学習会 (ピアサポーター養成講座)」の連続講座の企画, 2019. 4. 1～
- 4) 神奈川県立保健福祉大学・実践教育センター共催の「実習指導者養成教育 (社会福祉士実習指導者講習会)」の企画・運営・講師担当, 2018. 4. 1～

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学・実践教育センター共催、令和6年度実習指導者養成教育 (社会福祉士実習指導者講習会)、実習スーパービジョン論 (演習), 2024. 6. 29
- 2) 神奈川県立総合教育センター主催、教育相談コーディネーター養成研修講座、困難や課題を抱える人への社会的な支援, 2024. 8. 1

9. 学内教育活動

1) 学部

社会福祉基礎演習Ⅰの教材作成, 2024. 4-2024. 7

ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅲの教材作成, 2024. 4-2024. 7

人間関係とコミュニケーションⅠの教材作成, 2024. 6-2024. 7

ソーシャルワーク実習指導Ⅱの教材作成, 2024. 4-2024. 7

2) 研究科

ソーシャルワーク特論Ⅱの視聴覚教材作成, 2024. 6-2024. 7

博士前期課程4名の副指導教員を担当, 2022. 4-2024. 9

10. 学内各種委員会活動

1) 人権・倫理委員会, 2024. 4～2024. 8

2) 社会福祉教育関連・公立大学協会 学内窓口, 2024. 4～2024. 8

3) 入学式・オリエンテーション担当, 2024. 4～2024. 8

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 基盤研究 (C), 分担者, 池田朋広, 松本俊彦, 上原徹, 種田綾乃, 精神障害と物質使用障害を併せ持つ者への日本版統合治療支援ツールの開発と普及, 3, 770千円, 2021年04月, 2026年03月

2) 厚生労働省 科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業, 分担者, 岩崎香, 秋山剛, 秋山浩子, 安部恵理子, 飯山和弘, 五十嵐信亮, 井谷重人, 市川剛, 岩上洋一, 内布智之, 太田令子, 小笠原啓人, 門屋充朗, 彼谷哲志, 桐原尚之, 小阪和誠, 栄セツコ, 佐々木理恵, 島津渡, 四ノ宮美恵子, 平良幸司, 種田綾乃, 堤愛子, 土屋和子, 陶かい, 東海林崇, 中田健士, 永森志織, 蛭川涼子, 又村あおい, 三原睦子, 三宅美智, 宮本有紀, 森幸子, 矢部滋也, 山口創生, 吉野智, ピアサポート研修の実施内容の検証及び更なる効果的な実施方法の確立に向けた研究, 9, 490千円, 2024年04月, 2025年03月

3) 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業, 分担者, 関山隆史, 明間正人, 香山明美, 五十嵐信亮, 能本守康, 岡部正文, 名雪和美, 尾形多佳士, 的場律子, 大塚直子, 伊井統章, 浅沼充志, 木太直人, 種田綾乃, 澤野文彦, 瀬戸口祐貴, 退院促進措置における退院後生活環境相談員による支援の質の向上に資する研修に関する研究, 4, 000千円, 2024年04月, 2025年03月

15. その他

1) 関東学院大学 非常勤講師

野田有紀

3. その他の著作

- 1) 野田有紀, 2024年06月, 会員へのインタビュー～県士会の未来に向けて～, 神奈川県社会福祉士会 ～30年のあゆみ～, P67

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 野田有紀, 在日ベトナム・カンボジア人インタビュー調査報告-日本における移民女性の子育て観から見えてきたもの -, 第1回国際ソーシャルワーク協会学術研究大会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益財団法人神奈川県社会福祉士会, 多文化ソーシャルワーク委員会副委員長, 2020. 4～
- 2) 公益財団法人愛恵福祉支援財団, 国際支援企画委員, 2021. 4～
- 3) 社会福祉法人ル・プリ, 評議員, 2021. 4～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県外国籍相談窓口 社会福祉士, 2015. 4. 1～
- 2) 認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net) 教育相談員, 2012. 4～
- 3) オープンキャンパス 学科企画・運営担当, 2024. 8. 2, 3
- 4) ミニオープンキャンパス 学科企画運営担当, 2025. 3. 27
- 5) 社会福祉学科主催「レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材を活用した国際交流ワークショップ」企画運営 ウクライナ避難民と本学学生による交流。本学国際協働部門、横浜市国際交流協会、(株)アウトソーシングとの共催、神奈川県立地球市民かながわぶらぎ協力により開催した。 , 2025. 2. 8

7. 講演, 放送

- 1) 社会福祉学科内研究会「ソーシャルワーク教育における国際共修ー日本・フィリピン間でのオンライン活動からカルチュラルコンピテンスを探る」, 2024. 4. 15
- 2) 昭和女子大学「ソーシャルワークプロジェクト」ゲスト「レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材を活用したワークショップ チームビルディング」担当, 2024. 6. 26
- 3) 全国市町村国際文化研修所 国際文化研修「外国人相談窓口の運営」研修講師「相談窓口のためのコミュニケーション手法」担当, 2024. 7. 31
- 4) 神奈川県社会福祉士会 「基礎研修 I」研修講師「先輩社会福祉士に聞く」担当, 2024. 10. 1

- 5) 神奈川県社会福祉士会 「認定社会福祉士認証研修 多文化ソーシャルワーク」 研修講師
「科目6演習」 担当, 2024. 11. 3
- 6) 社会福祉法人ル・プリ 新入職員研修講師「援助技術論」 担当, 2025. 2. 20
- 7) 大学院社会福祉学専攻課程協議会（社専協）研究大会「ソーシャルアクションから考える
多文化ソーシャルワーク」 登壇「ソーシャルアクションの取り組み事例③」, 2025. 2. 21

9. 学内教育活動

- 「国際社会福祉論」 授業担当, 2024. 4～
- 1年必修科目「社会福祉基礎演習Ⅰ」 授業担当, 2024. 4～
- 2年「ソーシャルワーク演習Ⅰ」 授業担当, 2024. 4～
- ソーシャルワーク実習における事務全般（実習先、学内との調整）, 2024. 4～
- 3年「ソーシャルワーク演習Ⅲ」 授業担当, 2024. 4～
- 3年「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」 障害領域授業、巡回、帰校日担当, 2024. 4～
- 2年「ソーシャルワーク演習Ⅱ」 授業担当, 2024. 10～
- 2年「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」 授業サポート, 2024. 10～
- 4年「ソーシャルワークⅣ」 授業担当, 2024. 10～
- 「ヒューマンサービス総合演習」 授業サポート, 2024. 10～
- 国家試験対策「ソーシャルワークの基盤と専門職」, 2024. 12
- ソーシャルワーク実習報告会の運営, 2025. 1
- ソーシャルワーク実習指導者懇談会の運営, 2024. 10, 2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスセンター 国際協働部門 , 2024. 4～
- 2) 実習ステーション, 2025. 2～
- 3) 卒業・修了式, 入学式実行委員, 2024. 4～
- 4) 新年度学科別オリエンテーション担当, 2024. 4～

福馬健一

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本老年行動科学会, 研究委員, 2020. 12. 1～
- 2) 日本老年行動科学会, 評議員, 2020. 12. 1～
- 3) 横浜市福祉調整委員会, 委員, 2023. 4. 1～
- 4) 厚生労働省, 老人保健健康増進等事業 「地域共生社会の実現に向けた養護 老人ホーム及び軽費老人ホームの取組のあり方について」調査検討委員会, 委員, 2024. 8. 1～
- 5) 横浜市西区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会, 委員, 2024. 10. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 担当, 2024. 4. 1～2024. 8. 4
- 2) ミニオープンキャンパス担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 27
- 3) 大学見学, 2024. 4. 302024. 5. 102024. 7. 102024. 10. 242024. 11. 13, 全5回担当

7. 講演，放送

- 1) 「人生99年時代のフロンランナー - 老いの文化の再構築 - 」, 2024. 9. 24, 令和6年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブ大学（於：神奈川県立保健福祉大学）

8. 学会等での活動

- 1) 日本老年行動科学会第26回東京大会大会企画シンポジウム「日々の実践から研究の知を創り上げるケアと研究の出会い」, 2024. 9. 28, シンポジウムの企画と実施運営（於：白百合女子大学）

9. 学内教育活動

1) 学部

社会福祉士国家試験対策担当科目のテキスト作成, 2024. 12, 高齢者福祉論, 社会学と社会システム

社会福祉国家試験受験対策サポート全般, 2024. 4, 業者（模試・テキスト）との連絡調整, 試験監督, 外部講師との連絡調整・当日対応, 学内教員スケジュール調整

高齢者福祉論, 2024. 4～

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, 2024. 4～

ソーシャルワーク実習指導Ⅱ, 2024. 4～

ソーシャルワーク実習Ⅰ, 2024. 4～

ソーシャルワーク実習Ⅱ, 2024. 4～

社会福祉基礎演習Ⅱ, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 入試広報ワーキンググループ, 2024. 4
- 2) FD・SD委員会, 2024. 4

15. その他

- 1) 江戸川学園おおたかの森専門学校非常勤講師（高齢者福祉論）

松田愛美

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 松田愛美, 他国の介護職にみる組織市民行動-long term careに焦点を当てた検討, 第32回日本介護福祉学会大会, 2024年08月
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, 松田愛美, 特別養護老人ホームにおける介護職リーダーの組織市民行動一組織への帰属意識に着目した一考察, 第30回日本介護福祉教育学会大会, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 第2回学術集会実行委員, 2024. 10. 16～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 企画・責任者, 2024. 4. 1～
- 2) ミニオープンキャンパス 企画・責任者, 2024. 4. 1～
- 3) 社会福祉法人ユーアイ21小規模多機能型居宅介護事業所太陽の家逸見倶楽部 運営推進委員, 2024. 4. 1～
- 4) 三浦市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員, 2024. 4. 1～
- 5) 大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員, 2024. 4. 1～
- 6) 令和6年度 第38回シャローム施設内学会 講評, 2024. 10. 3
- 7) 令和5年度・6年度(第19回)横須賀市地域包括支援センター運営事業評価総評を執筆, 2024. 12

8. 学会等での活動

- 1) 令和6年度 全国教職員研修会 第1日目 教育力向上委員会主催研修プログラム 領域「介護」発表者, 2024. 10. 24, 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会が行い、全国の介護福祉士養成施設の教員が参加する研修会にて、領域「介護」に関する教育方法の提案として「科目間連携が可能な動画教材の作成」について発表した

10. 学内各種委員会活動

- 1) 卒業・修了式, 入学式実行委員, 2024. 4. 1～
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当, 2024. 4. 1～
- 3) 時間割編成ワーキンググループ, 2024. 4. 1～
- 4) 社会福祉学科共同研究室の責任者, 2024. 4. 1～
- 5) 介護福祉士養成校施設協会運営委員会, 2024. 4. 1～

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C），分担者，野田由佳里，岡本浄実，村上逸人，鈴木光男，湯川治敏，植田裕太朗，松田愛美，ミャンマー国及びカンボジア国外国人介護労働者を対象とした利用者理解プログラム開発，4,550千円，2024. 4. 1, 2026. 3. 31

打越 友実

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 打越友実, ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究（研究計画）ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第74回学術集会, 2024年06月
- 2) 口頭, 筆頭者, 打越友実, 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴②ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第75回学術集会, 2024年07月
- 3) 口頭, 筆頭者, 打越友実, 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴③ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第76回学術集会, 2024年07月
- 4) 口頭, 筆頭者, 打越友実, 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴④ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第77回学術集会, 2024年08月
- 5) 口頭, 筆頭者, 打越友実, 支援分野別に見るソーシャルワーク実践に伴う倫理的ジレンマの特徴⑤ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第78回学術集会, 2024年08月
- 6) 口頭, 筆頭者, 打越友実, ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究ークライエントの「最善の利益」と「自己決定」の尊重を中心としてー, 福祉学研究会第79回学術集会, 2024年09月

6. 社会貢献

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス 当日運営 グッズデザイン, 2024. 8
- 2) 社会福祉学科SNS担当, 2024. 4～

9. 学内教育活動

- 1) 社会福祉学科
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ（分担）, 2024. 4～